



<校訓>
敬愛 自主 剛健

未来橋

令和7年7月
高浜町立高浜中学校

Takahama Junior High School



過去と未来、思いをつなぐ伝統文化

七年祭が雅やかに、そして厳かに執り行われ、無事に幕を閉じました。報道では「本来の姿への転換点」とも評されましたが、その背景には、祭りのあるべき姿や次代に誇れる伝統について、関係者の皆さまが何度も話し合いを重ね、地域全体で心一つに盛り上げようとする気運の高まりがあったと伺っています。



学校では、「太刀振り」と「神輿巡幸」の鑑賞の機会をいただきました。専門家も「日本一」と称する太刀振りでは、演者の気迫あふれる太刀さばき、颯爽とした身のこなし、そして威勢よく盛り上げる太鼓打ちの姿に、生徒は息を呑みながら見入っていました。

「かっこよすぎる」「自分もやってみたい」と、思わず声が上がるほどの迫力でした。

また、囃子方へ女子生徒の初参加をはじめ、飲食物の給仕、祭りの準備や片付けなど地域の方々とともに活躍する生徒の姿が随所に見られました。新たな人と人のつながり



が生まれ、次代の若い力へと受け継がれていく地域の底力を、数多く感じることができました。

次代の祭りや地域づくりを担うのは、まさにこの生徒たちです。演技に見入る眼差し、地域で活躍する姿の先には、地域の皆さまの心意気や思いに寄り添う、新たな芽が確実に育まれていることを肌で感じました。



生徒に役割を任せ、温かく見守り、共に祭りを盛り上げてくださった地域の皆さんに心より感謝申し上げます。今後とも、学校・家庭との連携にご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

修学旅行を通してSHINKA

クラス別行動（1組：お台場、東京タワー 2組：浅草、すみだ水族館 3組：浅草、スカイツリー）



企業・専門学校訪問（早稲田美容専門学校、東レ、東京アニメーションミュージアム、警視庁、不二家、葛西臨海水族園）



3年生は、東京方面へ2泊3日で修学旅行を行いました。最終日には、昨年の職場体験の延長として、都内の企業や専門学校を訪問し、企業活動の説明を受けたり、体験活動に参加したりするなど、キャリア学習に取り組みました。

今回の活動を通して、生徒たちはメディアを通じてしか知らなかった企業の実際の取り組みに触れ、多くの気づきを得ることができました。経済活動の仕組みや社会貢献のあり方について、より深く理解する貴重な機会となりました。

若狭地区大会でSHINKA



若狭地区中体連夏季総合競技大会が開催されました。3年生にとっては、最後の地区大会となり、これまでの練習の成果を発揮しようと、全力でプレーする姿が見られました。試合後には、悔し涙を浮かべる生徒、勝利の喜びをチーム全体で分かち合う生徒など、さまざまな表情があふれています。

3年間の練習を通して、仲間と励まし合いながら築いてきた友情やチームワークは、勝敗を超えた大きな財産として、生徒たちの心に深く刻まれていくことでしょう。